



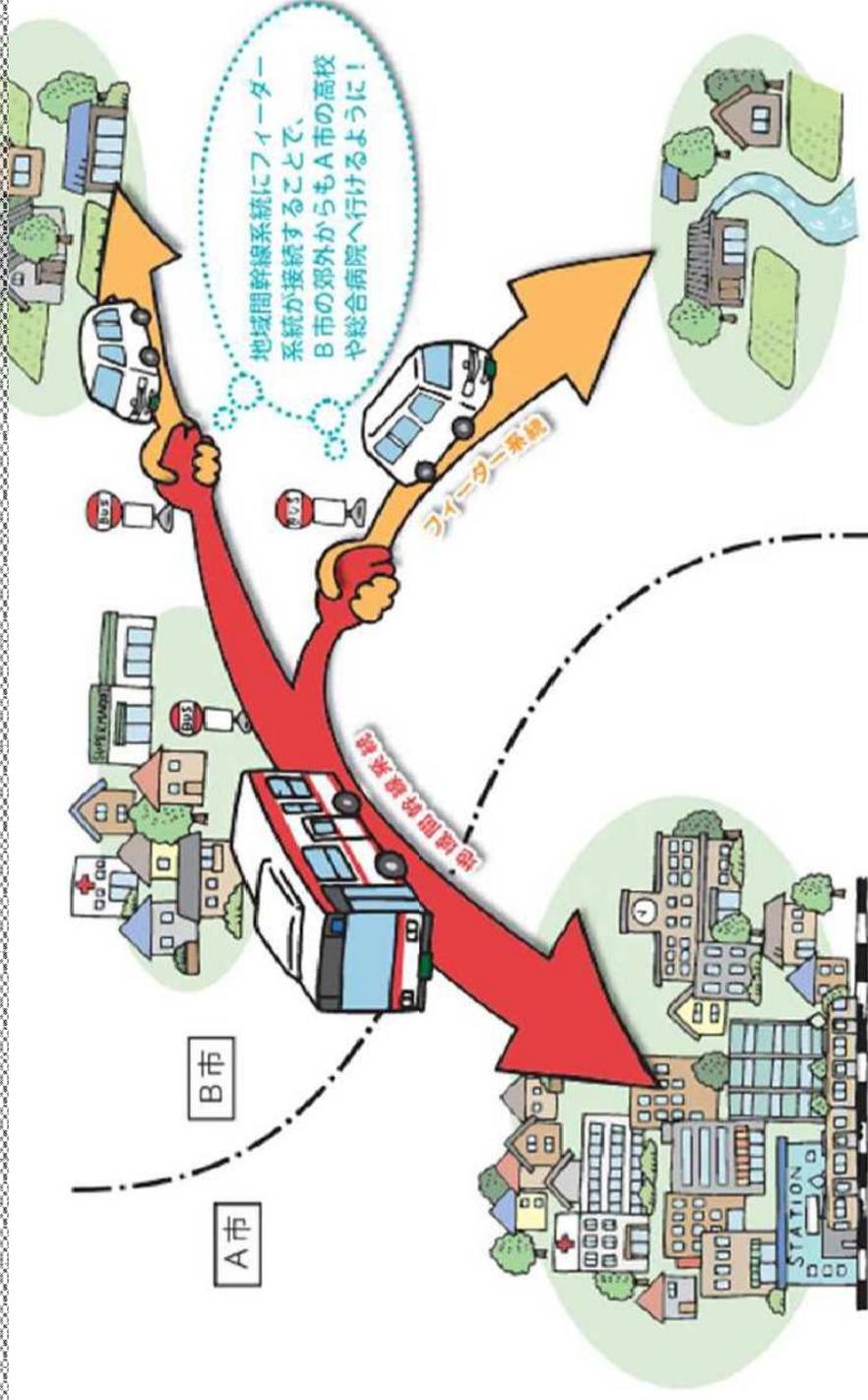
# 令和 6 年度 地域間幹線系統に関する事業評価

---

静岡県交通基盤部都市局地域交通課

# 地域間幹線系統とは

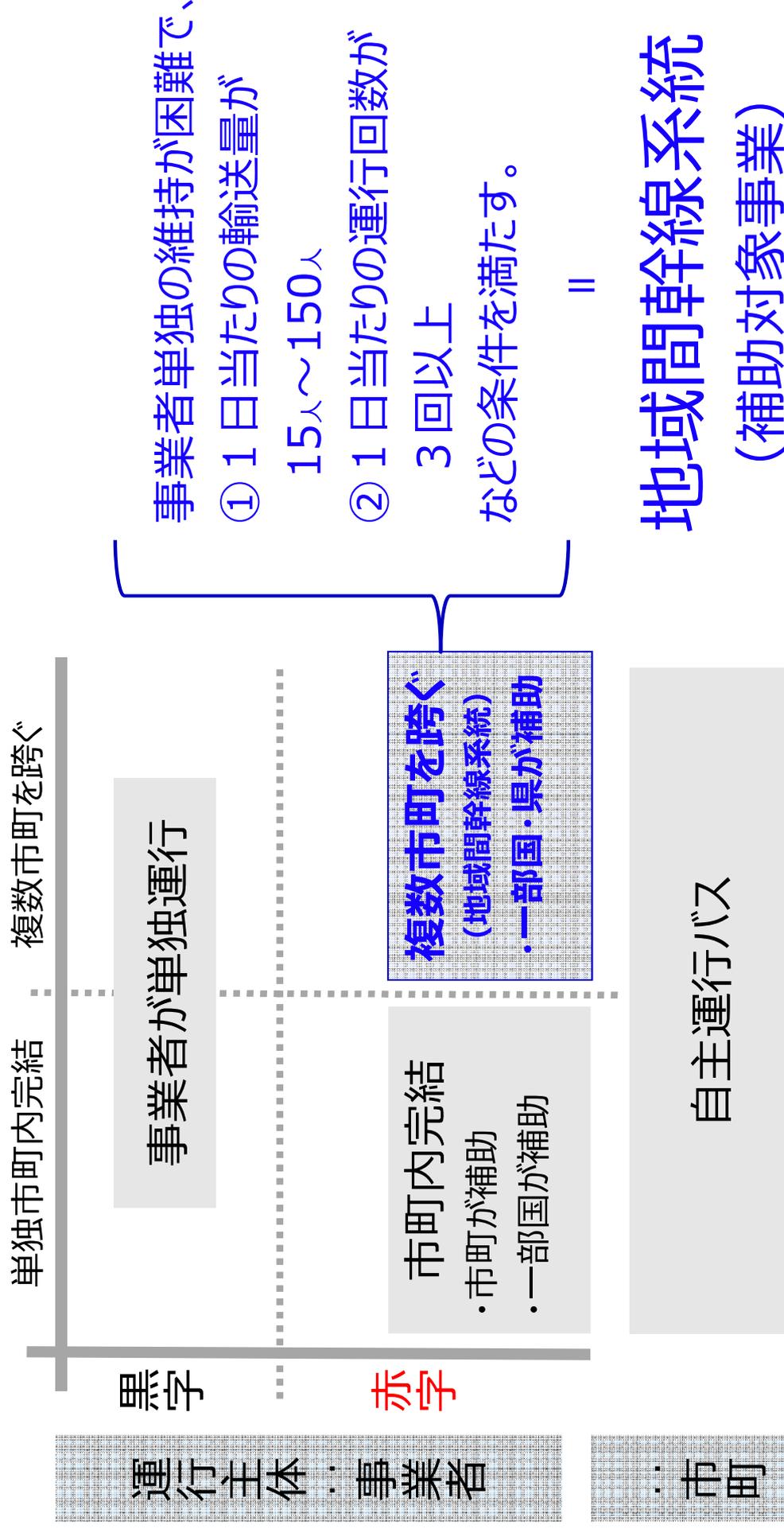
**日常生活における通勤、通学、通院の流動実態等から、結びつきの強い市町の組み合わせを交通圏として設定。**（出典：中部運輸局「中部の交通圏」）  
**圏内や圏域を跨ぐ広域的な移動を支える一つの手段が「地域間幹線系統」です。**



出典：地域間幹線バスが地域で役立つようにするために（監修：中部運輸局）

# 地域間幹線系統に係る国・県の補助対象事業

収支から見る乗合バス事業の全体像と幹線系統の位置付け



## 地域間幹線系統の評価(なぜ評価を行うのか)

- 補助対象事業が適切に行われているか確認する
- 評価結果を分析し、事業改善に繋げる
- 補助対象事業をより効果的、効率的に実施するため  
(参考)事業評価実施の根拠

### 地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱

#### 第3条

- 5 協議会※は、補助対象事業ごとに補助対象事業について評価を行い、その結果について地方運輸局又は地方航空局長に報告しなければならない。

※本県においては県地域公共交通活性化協議会バス専門部会(旧静岡県生活交通確保対策協議会)を指す。

# 静岡県の地域間幹線系統評価基準（新）

## 次の項目を点数化し、合計点をA・B・Cで評価

項目	評価する内容	評価
①運行回数	実績値（補助要件を満たしているか）	3回/日以上：10点 3回/日未満：0点
②輸送量	実績値（補助要件を満たしているか）	20人/日以上：30点 15人/日以上20人/日未満：5点 15人/日未満：0点
③収支率	実績値	50%以上：20点（満点）、25%未満：3点 25%～50%は3～6点を加算
④乗車人員	計画値に対する実績値	5%超：20点（満点）、0～5%増：15点、 0～5%減：6点、5%以上減：3点
⑤ネットワーク構成	鉄道等への乗換可能拠点数	鉄道駅及びバスターミナルでの結節：1箇所2点 その他のバス停での結節：1箇所1点
⑥広域移動状況	市町を跨いで移動する人の割合	50%以上：10点（満点） 5%未満：0点（5%毎に2～3点加算）
合計		A評価：86点以上 B評価：66～85点 C評価：51～65点 D評価：50点未満

# 〈参考〉静岡県の地域間幹線系統評価基準（旧）

## 次の項目を点数化し、合計点をA・B・Cで評価

項目	評価する内容	評価
①運行回数	計画値に対する実績値	計画数以上：3点 計画数未満：0点
②収支率	実績値	30%未満：0点（5%毎に3点加算） 55%以上：18点（満点）
③乗車人員	計画値に対する実績値	5%超：6点、△5%以上5%未満：3点 △5%超：0点
④ネットワーク構成	鉄道等への乗換可能拠点数	鉄道駅及びバスターミナルでの結節：1箇所2点 その他のバス停での結節：1箇所1点
⑤広域移動状況	市町を跨いで移動する人の割合	5%未満：0点（5%毎に5点加算） 20%以上：20点（満点）
⑥キロ当たり経費	国が示す標準単価との比較	単価以上：0点（△5%毎に5点加算） △15%超：12点
合計		A評価：52～79点 B評価：26～51点 C評価：0～25点



# 地域間幹線系統評価基準 主な変更点①

## 1 評価項目を「補助基準」「実施状況」「幹線性・広域性」に分類

項目	評価のポイント
補助基準	国・県の補助基準を満たしているか
実施状況	事業は効果的に実施されたか
幹線性・広域性	地域間幹線系統としての役割を果たしているか

## 2 評価項目に「輸送量」を追加（補助要件：15人／日）

結果	評価のポイント
15人／日～20人／日	今後利用者が減ると補助要件を満たさなくなるとおそれがあるため、改善に向けた利用促進等の努力が必要
15人／日未満	今回から直ちに補助対象外となるわけではないが、今後の計画で補助を受けられなくなるとおそれがあるため、見直しを含めた路線のあり方の検討が必要

# 地域間幹線系統評価基準 主な変更点②

## 3 評価指標を「A・B・C」の3段階から「A・B・C・D」の4段階に変更

指標	点数	評価のポイント
A	86点以上	地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B	66点～85点	地域間幹線系統として適した運行となっている
C	51点～65点	改善に向け努力を要する
D	50点以下	見直しを含めた路線のあり方の検討が必要

※C・D評価の系統については、今後国、県の補助要件を満たさなくなるとおそれがある。

## 4 評価対象から「キロ当たり経費」を除外

物価高騰や運転士確保のための処遇改善など、路線維持のために経費が上がっていることから、評価対象から「キロ当たり経費」を除外

# 令和6年度の評価結果

※詳細は別添

	A評価	B評価	C評価	D評価	系統数
山梨交通			1		1
秋葉バスサービス	2	1		1	4
遠州鉄道	10	5		1	16
しずてつジャストライン	4	6		1	11
富士急モビリティ	4				4
富士急バス	2				2
富士急静岡バス	1	1	2		4
富士急シティバス		6			6
伊豆箱根バス	1	2			3
東海バス	7	1			8
合計	31	22	3	3	59

# 評価結果内訳

## ○事業者ごとの系統別の評価

事業者名	系統名	R 6
山梨交通	富士吉野～オゾン、星山台～蒲原南陸	C
	秋葉線	D
	秋葉中遠線	A
	秋葉中遠線	A
	秋葉中遠線	B
遠州鉄道	浜北医大三方原聖隷線	B
	磐田市立病院福田線	A
	中ノ町磐田線	B
	秋葉線	B
	磐田天竜線	A
	磐田天竜線	B
	掛塚さなる台線	A
	内野台線	A
	内野台線	B
	磐田市立病院福田線	D
	引佐線	A
萩丘都田線	A	
富士急バス	大塚ひとみヶ丘線	A
	気賀三ヶ日線	A
	奥山線	A
	掛塚さなる台線	A

事業者名	系統名	R 6
しずてつ ジャストライン	三保草薙線	B
	五十海大住線	B
	焼津岡部線	B
	藤枝吉永線	A
	島田静波線	A
	島田静波線	B
	藤枝相良線	B
	菊川浜岡線	A
	掛川大東浜岡線	A
	掛川大東浜岡線	B
	掛川大東浜岡線	D
富士急 モビリティ	御殿場線	A
	駿河小山線	A
	十里木線	A
	河口湖線	A
	河口湖線	A
富士急バス	新富士線	A
	曾比奈線	C
富士急 静岡バス	大淵線	C
	大月線	A
	大月線	B

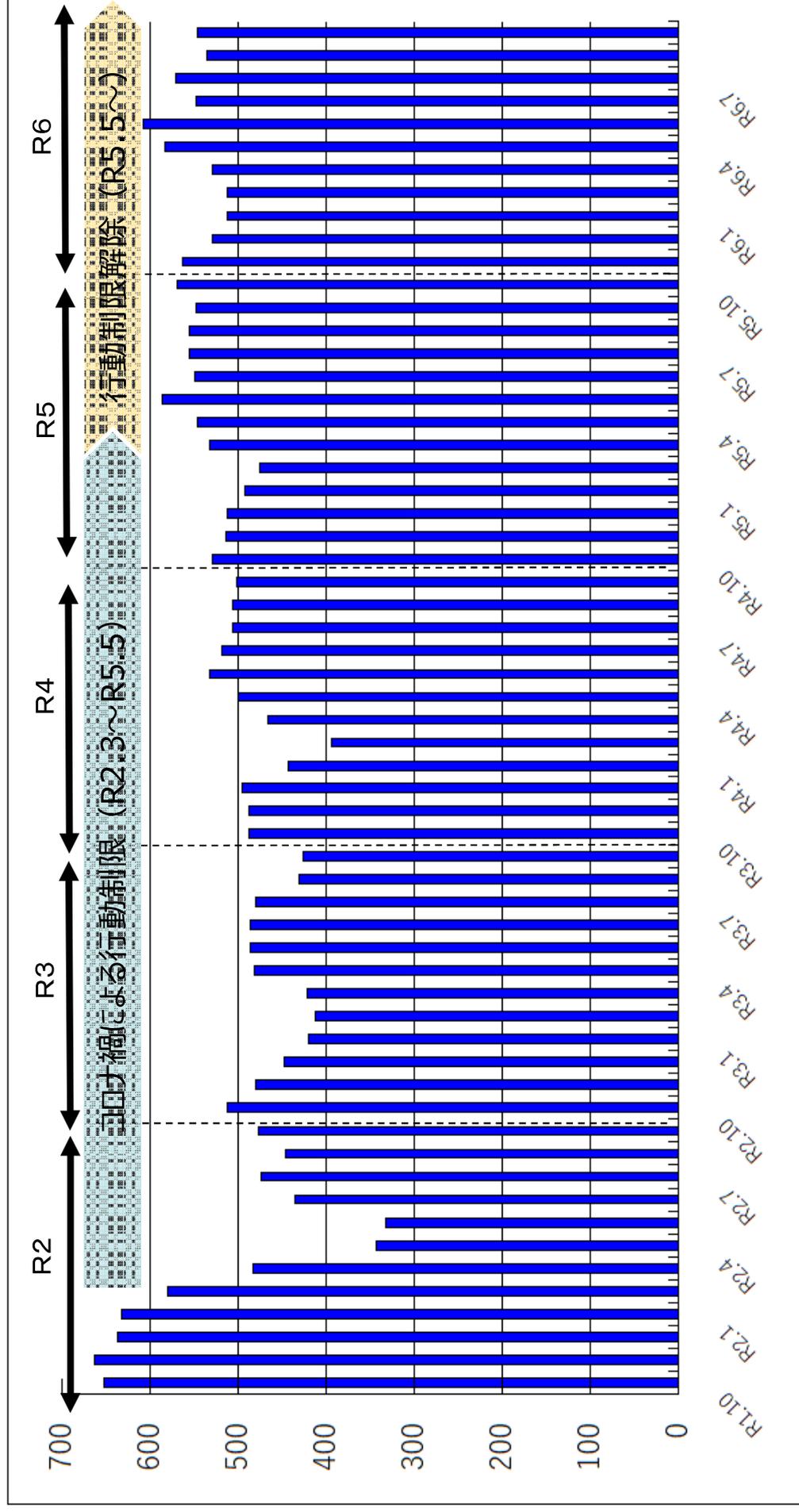
事業者名	系統名	R 6
富士急 シティバス	駿河平線	B
	須山線	B
	原線	B
	桜堤線	B
	がんセンチター線	B
	がんセンチター線	B
	沼津大岡三島線	A
	長岡伊豆三津シーパラダイス線	B
伊豆箱根バス	沼津静浦長岡線	B
	石廊崎線	A
	天城峠線	A
	戸田線	A
	西海岸線	A
東海バス	バサラ峠線	A
	バサラ峠線	A
	下賀茂線	A
	柿田線	B

※本年度の評価結果内訳は別添資料参照

# 〈参考〉県内の乗合バス利用者の推移

(R1.10～R6.9)

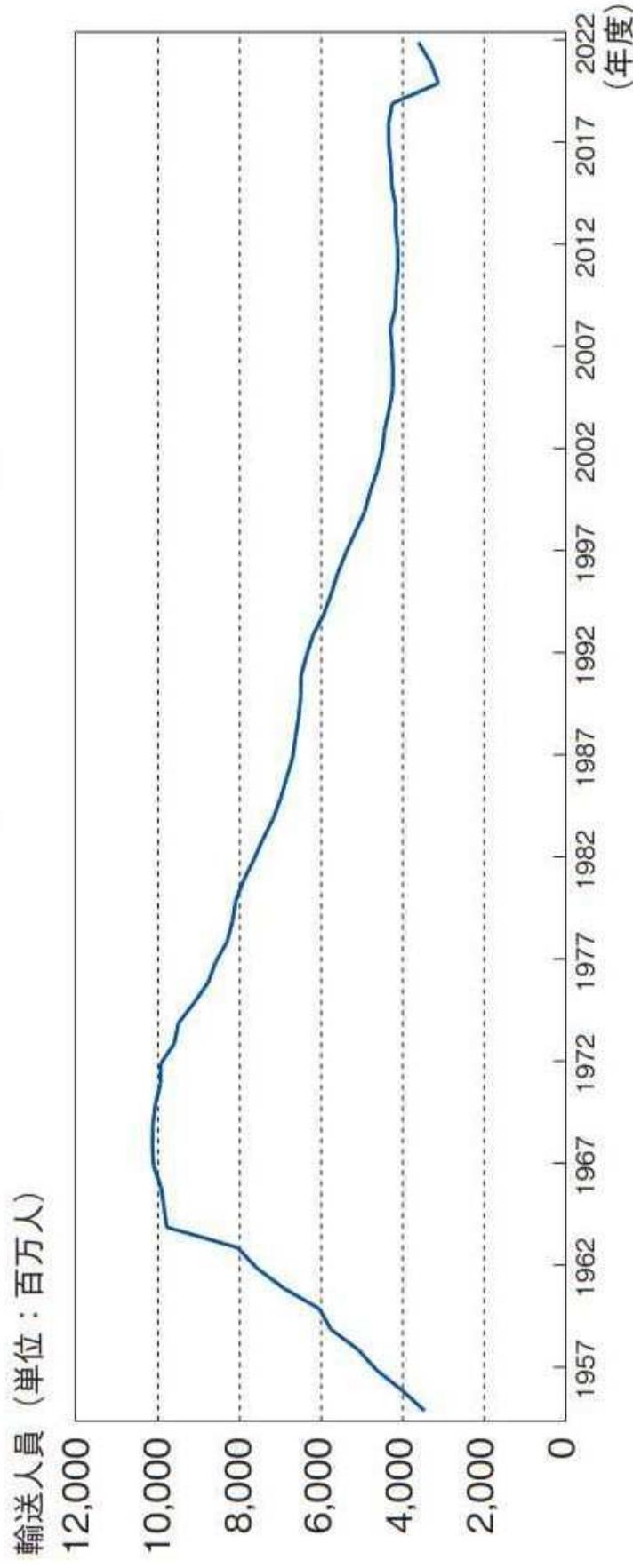
(単位:万人)



(静岡県地域交通課調査)

# 〈参考〉国内の一般路線バス輸送人員の推移

図表1-3-1-7 一般路線バス輸送人員の推移

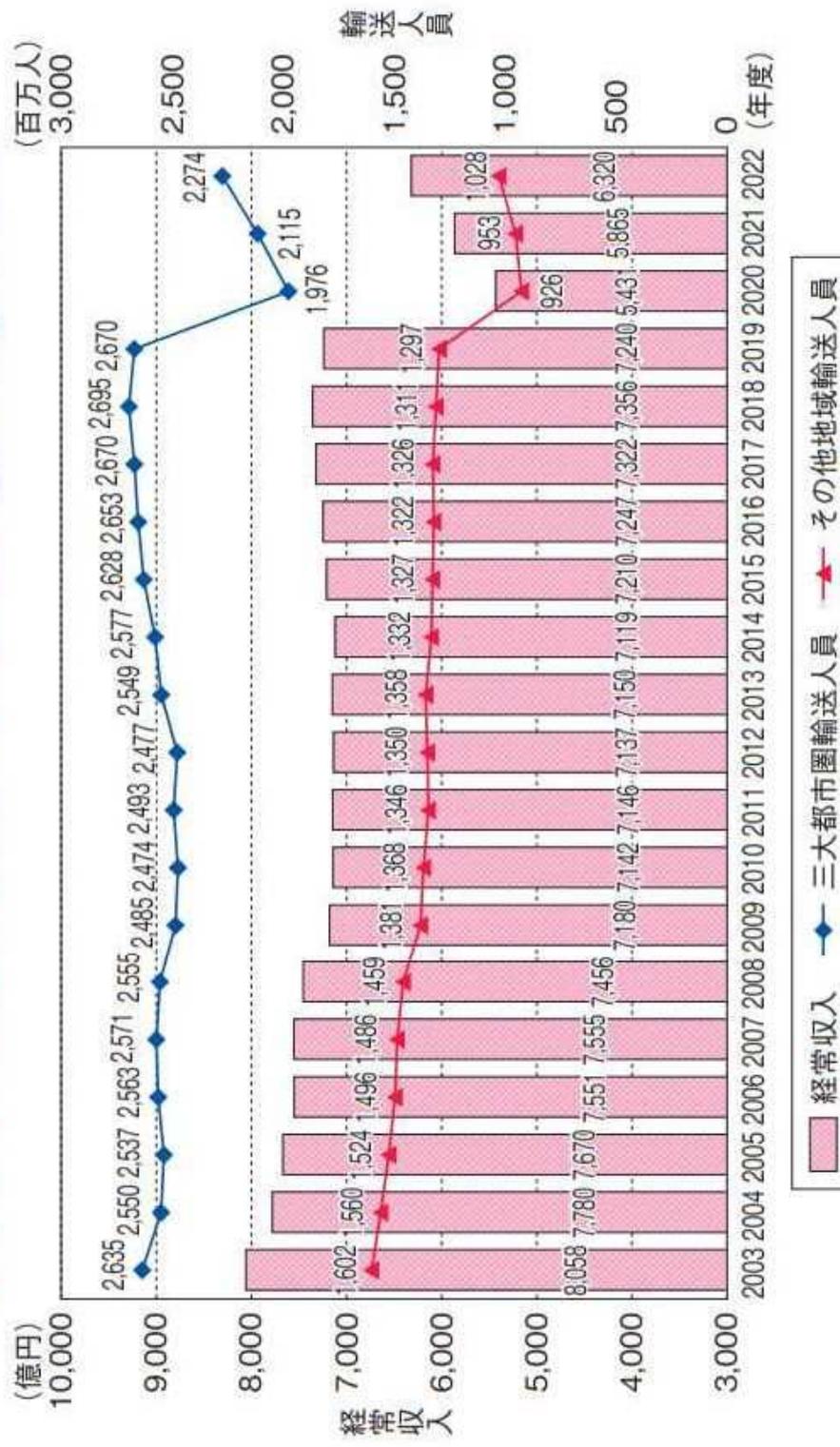


資料：「自動車輸送統計調査」から国土交通省総合政策局作成

(出典：国作成資料令和5(2023)年度交通の動向)

# 〈参考〉一般路線バスの輸送人員、經常収入の推移

図表1-3-1-8 都市部・地方部別の一般路線バスの輸送人員、經常収入の推移



注1：各数値データは、乗合バスの保有車両数が30両以上のバス事業者のデータを採用。

注2：三大都市圏とは、埼玉、千葉、東京、神奈川、愛知、三重、岐阜、大阪、京都、兵庫である。

資料：国土交通省物流・自動車局作成

(出典：国作成資料令和5(2023)年度交通の動向)

# 事業者、自治体の連携による利用促進の取組



## 実施日

令和6年12月7日（土）・8日（日）

## 対象路線

県内全域の約400路線（路線バス、コミュニティバス含む）

## 対象者

県内の学校に通う小学生約17万3000人  
※リーフレット配布部数

（同規模での小学生を対象としたバス無料デーは全国初）

## 掲載メディア

- ・NHK放送局、静岡第一テレビ、静岡朝日テレビ、静岡朝日テレビ（Web）、静岡新聞SBS（アットエス）、くふうロコしずおか（Web）
- ・SBSラジオ（IPPO）、FMHaro
- ・静岡新聞、中日新聞、読売新聞

## 効果検証

- ・無料対象路線での乗車人員調査、小学生や保護者を対象としたアンケートなどを基に実施効果を検証（公表は2～3月を予定）



## 令和 6 年度地域間幹線系統の事業評価結果（概要）

### 1 事業評価の目的

事業評価は、静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会が定めた静岡県地域公共交通計画に位置づけられた補助対象系統（地域間幹線系統）について、事業の実施状況の確認や目標の達成状況等の評価を行い、市町が開催する地域公共交通会議等における評価内容に対する議論・検討の活性化や広く県民に内容を公表することによる理解の促進など、補助対象事業が効果的、効率的に実施されることを目的として実施している。

なお、令和 6 年度評価では、より実態を反映した評価となるよう、国補助要件となっている「輸送量」を評価項目に加える等の見直しを行った（見直しのポイントは別紙のとおり）。

### 2 評価項目

評価の観点	評価項目	説明
補助基準	運行回数	実績運行回数が補助要件を満たしているかを評価
	輸送量	実績輸送量が補助要件を満たしているかを評価
実施状況	収支率	実績値を評価(収支率 50%以上満点)
	乗車人員	計画値に対する実績値を評価(+5%以上満点)
幹線性・広域性	ネットワーク構成	他の系統と乗換可能なアクセス拠点数及びバス停数を評価(10点満点)
	広域トリップ状況	バス利用者の市町を跨ぐ移動割合を評価(50%以上満点)
説明事項	(点数なし)	利用実態等を含めた当該系統の運行目的等
事業者の取組		路線維持のための増収策、路線維持のための費用削減策

#### 【各項目に評価点を設定し、合計点に応じて以下のとおり評価】

評価	内容
A (86 点以上)	地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B (66～85 点)	地域間幹線系統として適した運行となっている
C (51～65 点)	地域間幹線系統として改善に努力を要する
D (0～50 点)	地域間幹線系統として見直しの検討を要する

### 3 事業評価結果の概要

**全体評価：B**（参考※：R3～4: B、R5: A）※R5 以前の評価は R6 と評価基準が異なるため参考

- ・評価対象系統全 59 系統中、A 評価：31 系統、B 評価：22 系統、C 評価：3 系統、D 評価：3 系統
- ・平均点数が 83.1 点であることから、全体評価を『B』とした。
- ・各系統の評価結果は別添「令和 6 年度地域間幹線系統総合評価一覧表」のとおり。

(別紙)

### 見直しのポイント

- ・評価項目を「補助基準」「実施状況」「幹線性・広域性」の3部門に整理した
- ・「補助基準」「実施状況」を各40点満点、「幹線性・広域性」を20点満点とし、系統の特性よりも補助要件を満たしているかや、補助系統の実施状況を重視した『実績指向型』に見直しを行った

区分	評価の考え方	見直し内容
①補助基準	国・県の補助金を満たしているか	・運行回数に加え、新たに輸送量を評価基準に追加
②実施状況	事業は効果的に実施されたか	・従前の収支率、乗車人員の評価を採用 ・収支率、乗車人員は実績に比例した配点とする ・キロ当たり経費は、コロナ後の物価高騰や運転士不足等の社会情勢の変化をふまえ、基準単価（ブロック単価）との比較による評価は行わない
③幹線性・広域性	地域間幹線系統としての役割を果たしているか	・従前のネットワーク構成、広域トリップ率を採用 ・ネットワーク構成は経路が変わらない限り、系統固有の加点 ・広域トリップ状況は実績に比例、5%に満たない場合は幹線系統としての役割が僅少であるため0点
④合計	-	・評価の合計点（満点）を79点から100点に変更 ・評価指標を「A・B・C」の3段階から「A・B・C・D」の4段階に変更 A：86点以上 （幹線系統として優れた役割を果たしている） B：66点～85点 （幹線系統として適した運行となっている） C：51点～65点未満 （改善に向け努力を要する） D：50点未満 （見直しを含めた路線のあり方の検討が必要）

令和6年度地域間幹線系統総合評価一覧表

事業者名	系統名	補助基準(40点)			実施状況(40点)			幹線性・広域性(20点)			評価					事業者平均	全体評価	
		運行回数 (10点)	実績輸送量 (30点)		収支率 (15点)	乗車人員 (15点)		ネットワーク (10点)	広域トリップ (10点)	点数	A 86~100	B 66~85	C 51~65	D 0~50	計			
山梨交通	1 富士宮駅・イオン・星山台・蒲原病院線	10	5	15	12	20	32	6	5	11	58				1	58.0	B [全体評価の理由] ・平均評価点数が83.1点である。	
	2 秋葉線(袋井駅前～遠州森町～気多)	10	0	10	3	3	6	10	5	15	31							
	3 秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町)	10	30	40	15	20	35	10	5	15	90	○						
	4 秋葉中遠線(大東支所～横須賀車庫前～袋井駅南口)	10	30	40	15	20	35	6	8	14	89	○						
	5 秋葉中遠線(横須賀車庫前～新岡崎～袋井駅南口)	10	30	40	15	6	21	5	8	13	74		○					
遠州鉄道	6 浜北医大三方原聖隷	10	30	40	12	3	15	10	8	18	73		○					
	7 磐田市立病院福田線(磐田市立病院～磐田駅～豊浜郵便局)	10	30	40	15	20	35	7	5	12	87	○						
	8 中ノ町磐田線(浜松駅～中ノ町～磐田営業所)	10	30	40	20	6	26	9	5	14	80		○					
	9 秋葉線(春野車庫～西鹿島駅～厚生会)	10	30	40	12	15	27	7	8	15	82		○					
	10 磐田天竜線(ららぽーと新開～磐田駅)	10	30	40	20	20	40	8	10	18	98	○						
	11 磐田天竜線(ららぽーとと経由)	10	30	40	15	3	18	8	8	16	74		○					
	12 掛塚さなる台線(浜松駅～掛塚～豊浜郵便局)	10	30	40	20	20	40	9	8	17	97	○						
	13 内野台線(内野台車庫)	10	30	40	20	15	35	10	8	18	93	○						
	14 内野台線(サンストリート浜北)	10	30	40	15	6	21	10	8	18	79		○					
	15 磐田市立病院福田線(磐田駅南口～豊浜郵便局)	10	5	15	15	3	18	5	10	15	48			○				
	16 引佐線	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98	○						
	17 萩丘郡田線	10	30	40	20	15	35	10	5	15	90	○						
	18 大塚ひとみヶ丘線	10	30	40	20	20	40	10	0	10	90	○						
	19 気賀三ヶ日線	10	30	40	20	20	40	10	5	15	95	○						
	20 奥山線	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98	○						
	21 掛塚さなる台線(浜松駅～芳川～掛塚)	10	30	40	20	20	40	8	5	13	93	○						
	しずてつジャストライン	22 三保草薙線	10	30	40	15	15	30	10	2	12	82		○				
		23 五十海大住線	10	30	40	12	3	15	10	8	18	73		○				
		24 焼津岡部線	10	30	40	15	3	18	6	10	16	74		○				
		25 藤枝吉永線	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98	○					
		26 島田静波線(島田駅前～静波海岸入口)	10	30	40	12	20	32	10	10	20	92	○					
27 島田静波線(島田市立総合医療センター～島田駅前～静波海岸入口)		10	30	40	12	3	15	10	10	20	75		○					
28 藤枝相良線		10	30	40	15	6	21	10	10	20	81		○					
29 菊川浜岡線		10	30	40	20	20	40	5	8	13	93	○						
30 掛川大東浜岡線(掛川駅前～浜岡営業所)		10	30	40	12	20	32	9	10	19	91	○						
31 掛川大東浜岡線(中東遠総合医療センター～浜岡営業所)		10	30	40	20	3	23	10	10	20	83		○					
32 掛川大東浜岡線(掛川駅前～大東支所)		10	0	10	3	6	4	10	10	14	30			○				
富士急モビリティ		33 御殿場線	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98	○					
	34 駿河小山線	10	30	40	20	6	26	10	10	20	86	○						
	35 十里木線	10	30	40	20	15	35	8	10	18	93	○						
	36 河口湖線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○						
富士急バス	37 河口湖線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○						
	38 新富士線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○						
富士急静岡バス	39 曾比奈線	10	5	15	20	3	23	8	10	18	56			○				
	40 大淵線	10	5	15	20	3	23	10	10	20	58			○				
	41 大月線(吉原中央駅～富士宮駅)	10	30	40	20	6	26	10	10	20	86	○						
富士急シティバス	42 大月線(新富士駅～静岡県富士山世界遺産センター)	10	5	15	20	20	40	10	10	20	75		○					
	43 駿河平線	10	30	40	20	3	23	8	8	16	79		○					
	44 須山線(三島駅～須山)	10	30	40	20	3	23	10	8	18	81		○					
	45 原線	10	30	40	20	3	23	10	2	12	75		○					
	46 桜堤線	10	30	40	20	6	26	7	10	17	83		○					
	47 がんセンター線(沼津駅～がんセンター)	10	30	40	20	3	23	6	5	11	74		○					
	48 がんセンター線(三島駅～がんセンター)	10	30	40	20	3	23	6	10	16	79		○					
	49 沼津大岡三島線	10	30	40	20	6	26	10	10	20	86	○						
伊豆箱根バス	50 長岡伊豆三津シーパラダイス線	10	30	40	20	3	23	7	5	12	75		○					
	51 沼津静浦長岡線	10	30	40	20	3	23	7	5	12	75		○					
	52 石廊崎線	10	30	40	20	20	40	7	8	15	95	○						
東海バス	53 天城峠線	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98	○						
	54 戸田線	10	30	40	20	20	40	7	8	15	95	○						
	55 西海岸線	10	30	40	20	15	35	10	10	20	95	○						
	56 パサラ峠線(下田駅～堂ヶ島)	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○						
	57 パサラ峠線(下田駅～宇久須)	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○						
	58 下賀茂線	10	30	40	15	15	30	7	10	17	87	○						
	59 柿田線	10	30	40	20	3	23	10	10	20	83		○					
計										83.1	31	22	3	3	59			

## 地域間幹線系統 事業評価シート

別紙2-4

## 1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
しずてつジャストライン株式会社	三保草薙線	折戸車庫	草薙団地・県立大学前	折戸車庫
系統キロ程	関係市町			
24.8 km	静岡市			

## 2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価 点数	(参考) 前年度実績	
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—	
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	8.5 回/日	10	9.2 回/日	
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	39.9 人/日	30	40.4 人/日	
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—	
収支率 (20)	収入を確保できているか	45.4 %	15	46.2 %	
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上 回ったか	実績	119,448 人	15	118,580 人
		計画	118,580 人		130,381 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—	
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセ ス拠点 (バス停数) はあるか (詳細別記)	拠点	3 箇所	10	2 箇所
		乗継バス停	7 箇所		5 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移 動はされているか	7.6 %	2	6.7 %	

補助基準	40 /40
実施状況	30 /40
幹線性・広域性	12 /20
合計	82 /100

評価指標

B

- A : 幹線として優れた役割を果たしている  
 B : 幹線として適した運行となっている  
 C : 改善に努力を要する  
 D : 見直しの検討を要する

### 3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三保及び草薙沿線住民の静岡市立清水病院までの通院</li> <li>・清水区住民の草薙駅及び狐ヶ崎駅までの通勤</li> <li>・静岡県立大学までの通学</li> </ul>
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 忠霊塔前・静岡市立清水病院・草薙駅南口
	(乗継ぎバス停) 折戸車庫・西折戸・駒越東・龍華寺・妙音寺・狐ヶ崎駅前・県立大学前
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 東海大学(海洋)・東海大附翔洋高校、中学校・清水三保第二小学校・清水海上技術短期大学校・清水南高校・ペイドリーム清水・清水駒越小学校・静岡市立清水病院・日本平運動公園・船越堤公園・清水第四中学校・清水船越小学校・狐ヶ崎駅・イオン清水店・清水有度第一小学校・御門台駅・清水第七中学校・草薙駅・静岡県立大学・清水草薙スポーツ広場

### 4 事業者の取組

項目	内容
増収策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施</li> <li>・小学校へのバス教室の実施</li> <li>・バス乗り方リーフレットの配布</li> <li>・全国IC相互利用の導入(2013年3月より)</li> <li>・ICカード電子マネー機能搭載</li> <li>・バスロケーションシステムの運用による利便性向上</li> <li>・運賃改定の実施(2024年10月1日より)</li> </ul>
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブの徹底</li> <li>・利用実態に見合った運行便数への改善</li> <li>・燃料消費率の改善(デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導)</li> <li>・燃料使用量の削減(車両搭載燃料を抑制)</li> <li>・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し</li> </ul>



## 地域間幹線システムに対する市町取組方針報告書

市町名		静岡市
対象系統		
評価指標	A	三保草薙線
	B	
	C	
	D	
市町の取組		
<p>1 地域公共交通ネットワークの再構築、リ・デザインを目指す静岡市地域公共交通計画の策定作業を行い（令和6年度策定見込み）、本件路線を含む市内のバス路線の維持を図った</p> <p>2 各種補助制度により、運行欠損額を補填しつつ利用環境改善を支援した</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡市バス路線維持費補助金により、運行欠損額を全額補填する</li> <li>・ノンステップバス・燃料電池バス導入に対して補助を行う</li> <li>・停留所の上屋・ベンチ等の整備に対し補助を行う</li> </ul> <p>3 市民へのバス利用・路線維持に係る広報活動等を実施した</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市窓口、ホームページにおいて、路線図、時刻表、C&amp;BR位置図、災害時の運行状況について発信することにより、バスが利用しやすい環境づくりを行う。</li> <li>・本件路線を含む市内の路線ごとの補助額の推移（多額・増加傾向）を公表し、補助による路線維持に対する理解や積極的なバス利用による維持をPRする</li> </ul> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種イベント等の企画・連携</li> </ul>		
今後の方針（市町の意向等）		
評価指標	AまたはB	本系統は、通勤・通学・通院に利用され、市民生活に欠かせない移動手段であるため、引き続き運行維持及び利用促進に向けて支援を行う。
	CまたはD	

## (記載要領)

- 「市町の取組」は、評価期間に実施した利用促進策等の取組を記載してください。
- 「今後の方針（市町の意向等）」は、当該系統をどのように維持していくか、簡潔に記載してください。なお、輸送量が20人/日未満（特に評価指標がCまたはDの系統）については、国及び県の補助要件（輸送量15人/日等）を満たさなくなり、今後補助を受けられなくなるおそれがあるため、より具体的な取組や市町の意向を記載してください。